

お知らせ

●参加申込み

別紙参加申込書に必要事項を記入の上、
10月5日（金）までに、FAXでお申込みください。 **FAX 027-231-3164**
 ※参加申込書は、本校ホームページでダウンロードすることも可能です。
 詳しくは本校ホームページ（<http://jhs.edu.gunma-u.ac.jp/>）をご覧ください。

●参加費

各日、一人1,000円。当日、受付にて申し受けます。

●備考

- (1) 上履きは本校で用意いたします。
- (2) 校内では名札を着用してください。受付でも簡易名札を用意しますが、普段お使いの名札があればご持参ください。
- (3) ご参加の申込みをいただいた場合は、個人情報保護法の趣旨に基づき、次のことをご誓約いただいたものとさせていただきます。
 ア 本校の公開研究会における撮影・録音は、本校職員の指示に従う。
 イ 本校の職員、生徒の映像・写真・音声及び個人情報等について、研究を目的とした個人的利用に限定する。
 ウ 本校校長の許可なく、公表・発表を行わない。

自ら問題を解決し、 未来を創る生徒の育成

（1年次）

～「見方・考え方」を働かせる問題解決の過程を通して～

平成30年**10月11日（木）**・**12日（金）**

「目標と内容の総体」を示してきた学習指導要領は、この改訂により「方法」を示す新たな時代へと突入したと言えます。そこで、本校では今年度から各教科等における「問題解決の過程」に焦点を当てた研究を進めています。学級活動では「合意形成」を目指した学級会についての実践発表を行います。



<教科等>

11日（木） 社会・数学・美術・技術・学級活動・道徳
 12日（金） 国語・理科・英語・音楽・保健体育・家庭

<総合的な学習の時間>

11日（木）・12日（金） パネル発表

●特別の教科 道徳

「考え、議論する道徳」への転換と適切な評価について、実践発表を行います。文部科学省講演では、浅見教科調査官より来年度から中学校で完全実施される「特別の教科 道徳」について、ご講演いただきます。

<文部科学省講演>

11日（木）「特別の教科 道徳の全面実施に当たって
 ー変わること、変わらないこと、求められることー」
 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 浅見 哲也 先生



●英語

小学校外国語活動とのつながりを意識して、実践に取り組んでいます。文部科学省講演では、直山教科調査官より学校種間の接続が叫ばれている「英語」についてご講演いただきます。

<英語科パネルディスカッション>

12日（金）「英語の小中接続を探る」
 コーディネーター：群馬大学教育学部 教授 上原 景子 先生
 パネリスト：茂木千恵子（前橋市立桃井小教諭）
 高橋 洋介（群大附属小教諭）
 柳川 祥恵（本校教諭）



<文部科学省講演>

12日（金）「外国語教育における小中連携の充実
 ー小学校における外国語教育を踏まえた中学校外国語科の指導ー」
 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 直山木綿子 先生



交通案内

【JR前橋駅発】

- ・関越交通バス
 富士見温泉行「北代田」下車
 徒歩 15分
 - ・永井バス
 嶺公園行「県営住宅前」下車
 徒歩 10分
- ※バスは本数が少ないのでご注意ください。

【自家用車】

- ・本校係員の指示に従って駐車してください。

●問い合わせ先

群馬大学教育学部附属中学校

〒371-0052 群馬県前橋市上沖町612 Tel 027-231-4651 Fax 027-231-3164
 副校長／川野 文行 研究主任／加瀬 健
<http://jhs.edu.gunma-u.ac.jp/>

本校HP




主催／群馬大学教育学部附属中学校
 後援／群馬県教育委員会・群馬県小学校中学校教育研究会

8:30	9:00	9:20	9:45	10:00	10:50	11:00	12:10	13:00	13:50	14:00	15:10	15:30	16:50		
受付	開会式	全体会議 総論説明	移動	公開授業①	移動	授業研究会①	昼食	公開授業② 授業説明	移動	授業研究会② 道徳授業	移動	再現構成による 授業カンファレンス 浅見哲也 教科調査官	移動	文部科学省講演 浅見哲也 教科調査官	
								13:20		14:10	14:20		15:20	15:30	16:50

8:30	9:00	9:20	9:45	10:00	10:50	11:00	12:10	13:00	13:50	14:00	15:10	15:25	16:50
受付	開会式	全体会議 総論説明	移動	公開授業①	移動	授業研究会①	昼食	公開授業② 英語授業	移動	授業研究会② 英語の小中接続を探る パネルディスカッション	移動	文部科学省講演 直山木綿子 教科調査官	

授業者 (授業クラス)	主題		
	単元(等)名	授業PR	指導助言者
社会 社会的事象について、身に付けた知識や技能を活用し、持続可能な社会を構想する生徒の育成			
 弥城 淳 (1年4組)	公開授業① 南アメリカ州	南アメリカ州の課題の解決にむけて、社会的な見方・考え方を働かせて複数の視点や立場から多面的・多角的に考察し、身に付けてきた知識をもとにした意見交流を通して、持続可能な南アメリカ州の在り方を構想していきます。	群馬県教育委員会 指導主事 星野 浩章
 高山 美紀 (3年3組)	公開授業② 社会保障の仕組み	現代日本が抱える様々な諸問題。その中でも喫緊の課題とも言える福祉の問題に焦点を当て、持続可能な未来を担う生徒たちが社会の見方・考え方を働かせ、意見交流を通じた課題解決に挑みます。	群馬大学教育学部 教授 中尾 敏朗
数学 数学的活動の楽しさに気付き、粘り強く考えていく生徒の育成			
 木村謙太郎 (1年2組)	公開授業① データの整理と活用	様々なデータを分析し、よりよい解決方法を考える活動について、見通しと振り返りを意識した問題解決の過程を通して、生徒が数学の見方・考え方を働かせて、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 帖佐 一
 高橋 智之 (2年2組)	公開授業② データの活用と箱ひげ図	様々なデータを分析し、よりよい解決方法を考える活動について、高校数学1から降りてきた「四分位数」「箱ひげ図」などを利用し、データの分布の傾向を読み取り、見通しと振り返りを意識した問題解決の過程を通して、批判的に考察し判断する力を身に付けます。	群馬大学教育学部 准教授 澤田麻衣子
美術 地域とわたしが共存していく視点をもとに、新たな価値を獲得していく生徒の育成			
 大井 衛 (2年3組)	公開授業① わたしが住む未来のまち(ダンボール・アート)	ポートフォリオを用いた対話活動の場面において、生徒が美術の見方・考え方を働かせて、仕上げや展示方法をアドバイスし合い、見方や感じ方を広げる力を身に付けます。	群馬県総合教育センター 指導主事 足達 哲也 群馬大学教育学部 准教授 齋江 貴志
技術 学びを生活や社会とつなぎ、よりよい生活の実現や持続可能な社会を構築する生徒の育成			
 茂木 悟 (1年1組)	公開授業① 生活を豊かにする生物育成の技術	新学習指導要領で新たに必修化された飼育・養殖の技術についての授業を公開します。地域で事業に携わっている方のインタビュー映像の視聴を通して、最新の飼育・養殖の様子、飼育・養殖に用いられる生物育成の技術の仕組みや「生物育成の技術の見方・考え方」を身に付ける授業を行います。	群馬県教育委員会 指導主事 柳幸 真 群馬大学教育学部 講師 小熊 良一
道徳 道徳的価値を自分の生き方に捉え直して見つめ、よりよく生きようとする生徒の育成			
 柏木 純 (1年3組)	公開授業② C-10 遵法精神、公德心「二通の手紙」	法やきまりを遵守することの意義について、話合いの中心場面を設定し、考え、議論することを通して、生徒が道徳の見方・考え方を働かせて、複数の道徳的価値の対立が生じた際の取り得る行動を広い視野から多面的・多角的に考え、道徳的な判断力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 上原 伸吾 群馬大学教育学部 教授 黒羽 正見
学級活動 よりよい学級の実現に向けて適切な課題を見だし、合意形成し、実践できる生徒の育成			
 関根 直哉 (3年1組)	公開授業① 係活動を充実させよう	「テスト予想問題」係、「誕生日会」係、「イベントカレンダー」係は、本学級を豊かにするために生徒が企画・運営している係活動の1つです。計画委員による輪番制での企画・運営で、係や活動内容を見直し、自分たちの発想を生かした創意工夫のある活動を目指します。	群馬県教育委員会 指導主事 武川 光 群馬大学教育学部 教授 吉田 浩之

授業者 (授業クラス)	主題		
	単元(等)名	授業PR	指導助言者
国語 言葉による見方・考え方を働かせて、文章をより確かに読もうとする生徒の育成			
 今井奈なえ (1年1組)	公開授業① 花の形に秘められたふしぎ	今回の学習用語は「推論」です。「推論」とは、事実を基に推し量り、自分の考え(結論・答え)を導くということです。「文章構成を図式化する」という言語活動を通して、筆者の主張が「推論」によって成り立っていることを捉えます。	群馬県教育委員会 指導主事 宮前 嘉則
 下田 俊彦 (3年2組)	公開授業② 「新しい博物学」の時代	「吟味」とは、説明的文章の内容の信頼性や論理の妥当性を批判的に読むことを指します。文章全体を俯瞰して主張・事例・題名について捉えることによって、「吟味」する力を高めます。また、説明的文章を「吟味」する力を生かして、意見文を書く力に生かせるようにします。	群馬大学教育学部 准教授 河内 昭浩
理科 自然の事物・現象について、自らの学習過程を振り返りながら探究し続ける生徒の育成			
 下平 明德 (3年3組)	公開授業① 化学変化と電池	電池のしくみに関する実験について、問題解決構想シートにより各過程の関係性を構築することを通して、生徒が理科の見方・考え方を働かせて、探究の過程を振り返り、電池の電極における変化とイオンとの関係性を見いだす力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 高橋 学
 加瀬 健 (2年2組)	公開授業② 電流と磁界	磁界の中の電流が受ける力の実験について、問題解決構想シートにより各過程の関係を構築することを通して、生徒が理科の見方・考え方を働かせて、問題を解決する方法を立案し、電流と磁界の関係性を見いだす力を身に付けます。	群馬大学教育学部 准教授 栗原 淳一
英語 情報を整理し、知識や経験と関連付けながら表現しようとする生徒の育成			
 林 尚子 (3年4組)	公開授業① PROGRAM6 Let's Talk about Japanese Things.	日本の世界遺産などについてPRする活動を通し、よりよいPRにするためにはどうすれば良いかという視点を持ち、生徒同士で学び合ったり思考ツールを用いたりすることで、コミュニケーションにおける見方・考え方を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 田村 強
 阿部 麗 (1年3組)	公開授業② PROGRAM7 The Wonderful Ocean	小学校外国語活動とのつながりを意識した活動や友達とのやりとりを通して、生徒がコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら自分の考えを深め、即興的に表現することを目指します。	群馬大学教育学部 教授 上原 景子
音楽 思いや意図の実現を楽しみ、自ら音や音楽を捉えようとする生徒の育成			
 星野 勇希 (2年1組)	公開授業① 構成を生かしてリズムアンサンブルの表現を工夫しよう(創作)	ボディーパーカッション・アンサンブルの創作において、「構成」「感情やイメージ」に着目して題材を構成し、即興的な創作活動による試行錯誤を通して、生徒が音楽の見方・考え方を働かせて創意工夫する力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 綿貫 充 群馬大学教育学部 准教授 中里 南子
保健体育 課題解決に向けて運動の取り組み方を工夫して楽しむ生徒の育成			
 小川勇之助 (2年3・4組)	公開授業① 球技・ハンドボール	ハンドボールの楽しさをチームで味わうために、問題解決の過程における「問い」を活用して、技能の向上を図りながら、自ら問いに対する答えを見いだす力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 勅使河原誠 群馬大学教育学部 准教授 鬼澤 陽子
家庭 学びを生活や社会とつなぎ、よりよい生活の実現や持続可能な社会を構築する生徒の育成			
 小倉 久代 (1年4組)	公開授業① 日常食の調理	群馬県の食材を利用した弁当作りに向けて、新学習指導要領の取り扱う内容で新たに加わった「蒸す」加熱調理について、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、調理方法の特徴を考え、調理計画の工夫に生かすことを目指します。	群馬県教育委員会 指導主事 佐野 美幸 群馬大学教育学部 教授 西園 大実